

よりよい津山の実現へ 新年度事業が決定

令和2年度当初予算

一般会計 459億円 (対前年度比4.8%減)

※予算総額 821億円 (特別会計等を含む)

今回の3月定例会では、令和2年度各会計の当初予算が提出されました。

市長の施政方針では、人口減少問題をはじめとした本市を取り巻く厳しい環境や財政の硬直化など、さまざまな課題に正面から立ち向かい、拠点都市津山を再興し、よりよい津山の未来を実現すべく、市政運営に取り組んでいくとの説明がありました。

※予算内容の詳細は「広報津山5月号」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



旧苅田家町家群を宿泊施設として7月にオープン
4,431万円



城下小宿 糀や



旧津山国際ホテル跡地を
活用した賑わいの創出
1,605万円



農畜産物の販路拡大等を行う
地域商社の設立準備
925万円



放課後児童クラブの
運営とクラス数増加など
3億1,795万円



交通空白地解消のための
グループタクシー導入実験
362万円



当初予算
概要資料



広報津山
5月号